

議会広報

かみいち

2019

18号

平成31年1月15日

12月定例会の要点・委員会の審議
一般質問(議長を除く全11名)

委員会視察報告

追跡レポート

町民の声

(写真)白萩西部小学校やぎいも大会

発行/上市町議会
編集/議会広報特別委員会



平成30年12月定例会の要点

平成30年度 一般会計補正予算
5798万円を増額し

総額**99億4923万円**に

平成30年12月定例会は、5日から13日までの9日間にわたって開かれ、今年度の一般会計補正予算(2件)、地域開発事業、下水道事業、国民健康保険事業、水道事業、病院事業会計、各補正予算計7件、専決処分1件、条例の一部改正1件、合計9件の議案について審議を行い、議案はすべて原案の通り、可決・承認。追加議案の人事案件1件については選任に同意しました。

その他、議員11名が一般質問(P4からP12)に立った。

上市スマートIC(仮称)整備事業費 **1億8800万円**
(H31年度からH32年度)

障害者自立支援給付事業費 **3285万円**

こども妊産婦医療費 **243万円**

町単独農道・水路整備事業費 **385万円**

地域開発事業特別会計繰出金 **500万円**

固定資産評価審査委員会委員に佐伯宗茂氏を選任

議案採決一覧

○賛成 ×反対 △保留・欠席

議案	議 員											
	議長 松谷 英真	松本 寛	寺西 庄司	伊井 勇治	成川 友仁	堀田喜久男	勝戸 謙	伊東 俊治	宝嶋 洋子	碓井 憲夫	酒井 恒雄	酒井 桂之
第63号	平成30年度上市町一般会計補正予算(第4号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第64号	専決処分の承認を求める件(上市町保健福祉総合センター条例一部改正の件)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第65号	平成30年度上市町一般会計補正予算(第5号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第66号	平成30年度上市町地域開発事業特別会計補正予算(第2号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第67号	平成30年度上市町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第68号	平成30年度上市町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第69号	平成30年度上市町水道事業会計補正予算(第1号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第70号	平成30年度上市町病院事業会計補正予算(第3号)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第71号	上市町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第72号	北陸自動車道 上市スマートインターチェンジ(仮称)の工事等に係る受委託契約締結に関する件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第73号	上市町固定資産評価審査委員会委員選任に関し同意を得るの件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

会議出席欠表

○出席 ×欠席 △遅刻・早退

日付	会議の内容等	松谷 英真	松本 寛	寺西 庄司	伊井 勇治	成川 友仁	堀田喜久男	勝戸 謙	伊東 俊治	宝嶋 洋子	碓井 憲夫	酒井 恒雄	酒井 桂之
12月5日	本会議(先議1件・討論・採決)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月10日	本会議(一般質問)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月11日	総務教育常任委員会	-	○	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○
12月12日	産業厚生常任委員会	○	-	○	-	-	○	-	○	-	○	○	-
12月13日	全員協議会、本会議(委員長報告・討論・採決)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

委員会の審議

総務教育 常任委員会

上市高校生17名 委員会傍聴に

消防署

10月28日に実施した消防フェスティバルは200名を超える盛況でした。

一口用水を利用した有事の際の消防用水確保に繋げたい。また、冬場の流雪対応も計画性を持って実施出来る様、各方面にはたらき掛けたい。

総務課

職員研修は多岐に渡り、様々な研修でスキルアップを図っている。参加は義務的なものと、自主的なものがあり、業務に支障のない様配慮し進めている。

企画課

馬場島伝送路の断線事故は自然災害によるもの。地下埋設等、

色々な方法でリスク回避に向けベストな対策を検討したい。

移住について相談はあるが、町への移住につながる事例はない。尋ねられる内容は、住宅建設補助、保育料補助などのほかに、商業施設の有無があった。

財務課

ふるさと納税の実額は、平成30年418万円、平成29年312万円、平成28年225万円。平成28年から、申し込みサイト「ふるさとチョイス」を活用し伸びている。返礼品は総務省基準の3割以内、地場産品としている。

教育委員会

学校・文化施設の危険箇所は適宜調査し、随時修理・改善を行い、安全に努める。

花の苗の寄付があり、小学校の情操教育の一環として活用。置き勉については、各学校と連携を図り、

置場所の確保や、教材リストの作成・配布等を進めたい。

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査の件は了承。

産業厚生 常任委員会

福祉課

インフルエンザ予防接種ワクチンが不足気味だがまもなく通常どおりにもどる

町民課

今年の出生数は62人。年間1000人程度を見込む。昨年は103人。死亡者数は192人。年間290人程度を見込む。昨年は269人。

産業課

森林セラピーの視察に韓国から11人。詳細は韓国森林福祉振興院の関係者。大岩、眼目

の他、つるぎの味蔵にも立ち寄った。

視察に来られたいきさつは、ソントラベル(韓国)が「森の活用」をテーマにして日本各地の取組みを調べていた中で関心を引いたものである。訪日した韓国人のニーズの掘り起こしが必要。ツアー実績は1223人(H28年)、1021人(H29年)。

「サンリッツ」休止後の工場の管理方法は、地域住民迷惑がからないようにする。上市町在住の方は全員退職となった。再就職の支援をしている。

「ロキテクノ」滑川新工場については移転が目的ではなく、生産能力の増強が目的。稗田工場にいる技能労働者従業員130人のうち、約半数が新工場へ移動する。主力商品の「ろ過フィルター」は生産を継続する。

高さが3.5mあり、危険なブロック塀がある。早急に対応が必要。

かみいち総合病院

人手不足であり、給食の手作りにこだわる。給食業務委託は大変厳しい。

看護師の確保は厳しい状況であるが、看護師の配置基準は満たしているが、退職者も多い職種であるため随時募集をかけているが、中々応募がない。助産師も足りていない。今後、看護助手を増やすなど、様々な対応をしている。

燃料費、光熱水費が増加は、電気および灯油の使用量はその年の気温などで変動する。

眼科は外来患者がとても多く、平成31年1月から月曜午後1名派遣、4月から週数回の応援も検討している。

【審議の結果】
委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査の件は了承。

追跡レポート

その後実った議会での提案・要望

上市町ふるさと学習かるた

平成28年3月議会質問

その後

「かるた」を使って、ふるさと上市について勉強することは、ふるさとを愛する心を育み、ひいては人口減少の歯止め効果もある。と提案。今年度、子ども達の手による「ふるさと学習かるた」が完成した。今後のふるさと学習での活用を期待したい。



介護予防のための健康管理は

平成30年9月議会質問

その後

介護予防教室に行けない方へ、「わきあいあい体操」家庭版(A3サイズ)パンフレットが、各家庭にH30年12月1日配布となりました。



一般質問

バイオマス発電で放棄山林の再生



議員 伊野 憲 夫

議員 放棄山林の増大がイノシシの繁殖の要因になっている。バイオマス発電事業と協同し放棄山林の再生を。

イノシシ被害が里山の継続を脅かしている。

炭や薪、地元産木材が生活に活用されていた時代は、里山へのイノシシの出没はなかった。森林組合が伐採整備をしているが追いついていない。

県の施策で木材を利用したバイオマス発電や、ペレット燃料の活用を推進しているが、発電のための木材が不足している。バイオマス発電業界と協同し、放棄山林の再生を進めてはどうか。

産業課長 平成27年3月から射水市は、初の木質バイオマス発電所を稼動している。

燃料は県森林組合連合会と協定を結んだ後、連合会から各森林組合に依頼し、原木を調達している。

しかし、下刈り作業等で発生した残材は対象外

で、木材資源として有効に活用されていない現状だ。バイオマス発電事業と協同し、燃料として提供できるようにすれば、山林の再生並びに有害鳥獣の棲み分け等、効果が期待される。

そのためには関係地権者のご理解とご協力が不可欠だ。

また、定期的に一定量の原木材料を提供するためには、県森林組合連合会のみならず、立山山麓森林組合とも更なる連携が必要となってくるなど、町単独の対応ではバ

イノシシ被害額（共済被害報告）（円）

地区	H30年度	H29年度
上市	0	590,688
白萩	341,483	1,311,160
南加積	1,253,677	2,611,625
柿沢	745,816	1,283,841
大岩	564,726	179,728

イオマス発電事業に対応することはきわめて困難である。

議員 放棄民有林の自治体管理が可能になった。再検討すべき。

バイオマス発電所と県の森林政策課に行ってきた。現在の森林法は木材が貴重であった戦前に制定され、規制が多く、放棄山林が増える要因になってきた。

近年、放棄され近隣に迷惑な、放棄林の管理は自治体が管理ができるように森林法が改正された。町の努力があれば前に進む。再検討すべきだ。

議員 6カ月以上継続して勤務する職員（非正規）に一時金の支給を。

公的業務は年々複雑多岐になる反面、人員削減、非正規職員化が進められており職員は大変だ。過密労働が原因とみられる病欠者も常態化している。

働く方の健康と働く喜びが必要だ。同じよう

に働いているにも拘わらず、職場のなかに一時金が支給される方とそうでない方など、差別があつてはならない。一時金は、働く者とその家族の喜びであり、期待である。

町長 臨時職員については6カ月ごとの任用形態となっているため、一時金である期末手当を支給していないが、平成32年4月施行の改正地方公務員法により、現行の臨時・嘱託職員の大部分が会計年度任用職員に移行することとされており、改正地方自治法において会計年度任用職員に対して期末手当が支給することができる」と定められている。

ただし、総務省から出されている「会計年度任用職員制度の導入等に向けた事務処理マニュアル」において、「会計年度任用職員の期末手当については、各団体の実情、任用の実態等に応じて、細部において異なる

制度設計とすることも差し支えない」とされているなど、具体的な運用面で不明なところもある。

今後、国からの通知や県及び県内の市町村の動向を踏まえて、適切に対応していきたい。

議員 健康保険の加入などの負担を逃れるために6カ月契約にする。数カ月で再度契約する。

そのような雇用が人口減に繋がる。他の市町村の動向を待つのではなく改善すべき。





伊井 勇 治 議員

用途地域内の環境保全対策に支援 交通安全対策として夜間照明

議員 用途地域内の環境保全対策（草刈り等）に支援を求める。
産業課長 6月議会で答弁した多面的機能支払交付金事業の対象エリアの拡充は関係機関に働きかけたが前向きな回答は得られなかった。
多面的機能支払交付金事業の対象となる農用地は、原則、農業振興地域の農用地であり、用途地域内の農用地は対象外である。
町では、多面的機能が発揮される保安全管理活動を実施する団体等には、農用地1筆につき1回を限度とする支援をしているが、2回目以降の支援がなく活動する団体等の負担が大きいことから、新年度において見直しの検討を行う。
議員 交通死亡事故の発生対策として夜間照明の設置を求める。



交通事故発生道路(正印地内)

議員 用途地域内の環境保全対策（草刈り等）に支援を求める。

産業課長 6月議会で答

弁した多面的機能支払交

付金事業の対象エリアの

拡充は関係機関に働きを

かけたが前向きな回答は

得られなかった。

多面的機能支払交付金

事業の対象となる農用地

は、原則、農業振興地域

の農用地であり、用途地

域内の農用地は対象外で

ある。

町では、多面的機能が

発揮される保安全管理活

動を実施する団体等

には、農用地1筆

につき1回を限度

とする支援をして

いるが、2回目以

降の支援がなく活

動する団体等の負

担が大きいことか

ら、新年度におい

て見直しの検討を

行う。

議員 交通死亡事

故の発生対策とし

て夜間照明の設置

を求める。

建設課長 道路照明は、

夜間における安全で円滑

な交通を確保するため、

非常に重要な道路の付属

施設である。

町内会長や交通安全関

係団体から新たな道路照

明設置の要望があった場

合には、道路管理者が設

置基準に基づき、必要性

や設置場所の有無等の状

況を確認し、設置の可否

を判断して設置する。

なお、基準に該当する

場合でも、近接する家屋

や田畑への影響から設置

が困難なケースもある。

議員 災害時における町の「応急危険度判定士」の現状は。

建設課長 応急危険度判

定士は、建築士法に規定

する建築士で、判定士養

成を終了したものに對し

都道府県が認定・登録す

る制度。現在、町には2

名いる。

判定を実施する最少単

位は2人1組であるが、

万が一災害が発生した場

合には、県が支援本部を

立ち上げ、他市町村や建

築士会等の民間の協力を

仰ぐこととしている。

議員 本年度に実施して

いる「都市計画基礎調

査」に都市施設の見直し

を検討し早期に事業化

を。

建設課長 上市町都市計

画マスタープランは、町

民の皆さんの意見や、都

市計画審議会の協議を経

て平成29年12月に策定が

完了し、今年度は都市計

画基礎調査を実施してい

る。

都市計画基礎調査は、

概ね5年ごとに実施され

る調査であり、都市にお

ける人口、産業、土地利

用、交通などを定期的に

把握することを目的とし

ている。

都市計画法では、都市

計画の決定や変更は、基

礎調査結果に基づくこと

と定められており、今回

の基礎調査の結果を受

け、都市計画の見直しを

進める。

今後の都市計画の見直

しは、県が平成24年3月

に策定した「上市都市

計画区域マスタープラ

ン」、町が平成29年12月

に策定した「上市町都市

計画マスタープラン」と

今回実施している「都市

計画基礎調査」の結果を

踏まえ、来年度以降、先

ずは都市計画道路の見直

しに着手することの検討

を行う。

見直しの内容は、都市

計画決定後、未着手のま

ま経過している都市計画

道路の必要性や代替道路

の検討、道路構造の再検

討を行うものであり、町

民の皆様を理解をいた

きながら進めていく。



一般質問

新たな上市の観光地



伊東 俊治 議員

議員 まま子滝の上流にある滝をどう活用するか。

産業課長 11月上旬、白萩西部地区代表区長会などから、まま子滝上流にある滝周辺整備の要望があり、担当職員が地元区長会の方々と足を運んだところ、高さ5mほどの2つ連なる壮大な滝を見ることができたと聞いている。場所は、釈泉寺地区のまま子滝上流域に位置し、作業道から藪の中を10分ほど歩いたところとなる。

町としては、この美しい滝が当町の新たな観光資源になりうるのではないかと期待しているが、そのためには年間を通じて滝が流れているか等、調査研究をしていく必要がある。観光資源の一つとなると判断できたら、幸い、白萩西部地区代表区長会などの方々が作業道から滝までの草刈等を実施していただけているので、地権者等から了解を得た上で、人

夫賃と看板設置費を予算要求していきたいと考えている。

議員 山城歩きでアピールせよ。

産業課長 町内の山城は、稲村山城、千石山城、茗荷谷山城、柿沢城、郷田砦など数箇所あ

る。昨年2月に発行した上市魅力発見ガイドブック「上市のヒキダシプラス」では特集として、いくつかの城について紹介させていたが、全世帯に配布した。

なお、弓の里歴史文化館では町の文化財をパネル解説で展示しており、

町の山城についても紹介している。また、城跡地については、観光協会が発行する観光マップで紹介されているが、山城跡地を案内できる観光ボランティアガイド員もあり、要望があれば対応できる体制を整備している。

町では町の文化財をパネル解説で展示しており、

かみいち魅力発見ガイドBook

かみいちの



2017 保存版 vol.4



歴史ミステリー



堀田喜久男 議員

バス運行見直しに町民の声を「置き勉」に配慮を

公共バス運行見直し

議員 11月13日、見直し作業の途中経過を説明頂いた。その説明では、まだ具体策が見えず不十分との観点から、改めて尋ねる。

議員 進捗状況は。副町長 全体の6割程度と感じている。

議員 追加作業は何か。副町長 先行的にデマンド運行している市町村の実態調査や事業者との意見交換。

議員 何をコンセプトに進めているのか。副町長 「スクールバスの機能の確保」と「交通弱者の日常生活の足の確



保」を最優先に。

議員 町民の意見徴収などの機会は作るのか。副町長 直近3年間の町づくりアンケート、バス回数券購入者の方の窓口アンケート、車内聞き取り調査等で頂いた多数の意見を集約して、検討作業を進めていきたい。

議員 具体的に試行運転予定はいつ頃か。副町長 来年度後半には、実証実験にこぎつけたい。

議員 輪島市のようなエコカートの導入は。副町長 現時点での導入は難しいと受け止めている。

議員 スクールバスは、特に問題は無いと思う。コミュニティバスは、各地区から放射線状に拠点に集客。そこから循環型で病院・買い物などの目的別バス運行とすることも可能ではないか。また、週末・季節限定で観光目的のバスも導入有りではないか。

副町長 目的別バス運行の提案も参考にして、町にとってコスト面も含め、どんな運行方法が最適かを、しっかり検討していきたい。

議員 町民のニーズに沿った運行を期待すると同時に、地元商工会やタクシー会社との連携協力も視野に入れてお願いしたい。

「置き勉」に配慮を

議員 ランドセルの重さは、あるメーカーの調査によれば、重い日で約6kg。児童の約3割が首などに痛みを感じていることだが、当町での問題意識はあるのか。

議員 何らかの方策をとって行くのか。副町長 近年、教科書のページ数が増え、携帯品の重量が増している。低学年中心に、宿題

に使用する教科書を除き、副読本、資料は棚へ、クレヨンや定規、はさみなどの道具類は道具箱に置き、持ち帰らなくても良いように配慮している。

議員 今後、どのように実施していくのか。副町長 授業で作成した工作や栽培した植物は、学期末近くに計画的に分散して持ち帰られるよう指導する。

議員 文部科学省では、現場で取り組んでいる工夫例も示している。副町長 平成30年9月、携行品に係る工夫例が明示され、10月の小中校長会で周知した。

議員 適切な配慮によって、事故防止等にも繋がると考える。副町長 特に、安全面から登下校の際に両手がふさがらないような配慮と

軽くできる工夫によって、携行品が過重なものとならないよう配慮していく。

大倉山にベンチ設置を

議員 大倉山の山頂はじめ、池ノ谷氷河のビューポイント及び適当な休憩所に、ベンチの設置と氷河の位置を示す写真入りの看板等の設置は出来ないか。副町長 トレッキングマップに、大倉山は氷河を眺望できる山と記載。講演会も開催した。ベンチや看板設置は、山が民有地であることと相当の費用を要することから、慎重に検討させて頂きたい。



一般質問

駅や高校は地域の宝！ 優れた取り組みの持続へ連携協力



成川 友仁 議員



持続可能な開発目標(SDGs)の第3項目と第11項目

持続可能なまちづくり

職員研修で理解を

重点施策を関連づけ

議員 持続可能な農業（担い手確保や獣害対策）や持続可能な公共交通（バス等の利用促進）といった、上市町の特徴を踏まえた地域づくりが求められる。

各地で模索されている持続可能な開発目標(SDGs)につき、時機を逸して上市町が取り残されることを危惧する。まずは職員研修で理解を進めよ。

町長 今後予定している

第8次上市町総合計画の策定にあたって、担当職員を積極的に研修会へ参加させるほか、重点施策をできる限りSDGsに関連づけるよう努める。

高校生の職場見学会

プログラムの開発を検討を重ね実施する

議員 上市高校1年生が参加した職場見学会の手ごたえは。

副町長 高校・町内企業有志のハッピー上市会や、役場など関係者の思いが見事に重なった。働くことの意味などを知ってもらう狙いは、ある程度実現できた。

議員 1年生が職場見学会で町を知る、翌年2年生で町を体験する、翌々年3年生で町に貢献する。高校生と上市町との関わりを持続するべく、このような段階を踏んだプログラムとして整備しては。

副町長 2年生のインターンシップ体験の受け入れ

をお願いするほか、町内事業所を生徒が間近で知ることができる機会を検討中。

既に上市高校から頂いているアイデアも幾つかあり、こちらも実施にこぎつけた。

上市駅のにぎわい

協力して活性化を積極的に支援する

議員 上市駅構内で初めて開催された「上市えきなか古本市」が盛況であった。当日の割引券や臨時駐車場の利用状況は。



上市えきなか古本市の出店

企画課長 電車であたら

もらえる割引券は63名が利用。臨時駐車場には古本市の終了時刻まで自家用車が絶えず出入りしていた。

議員 適宜JAアルプスや富山地方鉄道などと協力して、駅周辺の駐車場を臨時の駐車場にするなどして駅なかの活性化を図っては。

企画課長 古本市の継続的な開催や、他団体が企画する駅構内の賑わい創出事業に対して、上市町観光協会・富山地方鉄道・JAアルプスなどと連携して積極的に支援する。



JAアルプスの協力で実現した駅前の臨時駐車場

公共交通利用者の集い

企画切符で体験を新たな事業も視野に

議員 公共交通のアイデア検討会などに積極的に参加せよ。上市町でも開催の誘致を。

企画課長 町職員もできる限り参加。学識経験者の参画も必要。

議員 年末年始限定で乗り放題になる切符など、既存の企画切符を利用して電車やバスを体験してみては。

企画課長 親子でお出かけ切符など実施済みの事業に加えて、企画切符を利用する新たな取り組みも検討する。



酒井 恒雄 議員

町の諸課題を町民に「見える化推奨」への取り組み

議員 中川町長就任1年を振り返って。

① 町民の満足度向上のために取り組んできた施策は。

② 更に輝く上市町を目指すため、自身の格言・目標は。

町長 主な施策として、「第3子分保育料の完全無料化（所得制限撤廃）」「がん検診の受診率向上のため、血中ピロリ菌検査と乳腺超音波検査の追加」「自主防災組織に対する資機材助成の上限を拡大」などがあげられる。

私自身これまで、「努力は無駄にならない」を信条に町政に取り組んできたが、まだまだ努力不足であると感じている。常に公平公正であり、仕事のやり方に問題意識を持つて取り組み、町民の一層の満足度向上につなげていきたい。

議員 平成31年度の諸課題について伺う。

① 新年度予算編成に向けた予算規模・重点事業

町長 大きな増収は見込みにくく、新年度は今年度一般会計当初予算額と同程度の97億円台で編成を目指している。

主な事業として、上市スマートインターチェンジ（仮称）で町道となる

連続道路の整備の他、大岩地区で県補助事業「富山県まちの未来創造モデル事業」に取り組む、その採択を目指すことで、町の観光資源を有効活用しつつ、町の魅力を増進していく。

子育て施策は、平成31年10月から実施が予定されている幼児教育・保育の無償化の対象外となっている3歳未満児の保育料の軽減を検討する。

教育施策は、上市中央小学校の講堂の床の全面改修を実施する。

健康づくりの施策は、特定健診・がん検診の充実の他、健康に関する教室の推進に向けてインセンティブをつける。健康づくりのきっかけと習慣

の定着のため、教室参加者にポイント付与し、一定のポイント数に到達した方には参加賞等を提供する仕組みを導入していく。

② デマンドバス・タクシーの運行実施時期は。

町長 町営バス再編検討調査を進め、利用状況等を「利用者別」「曜日別」「時間帯」など多角的に検証した。デマンド型公共交通は電話予約が必要であるため、利用者にとって煩わしさが発生するほか、町営バスよりも運賃が高くなる。

こうした課題も含め、上市町に適した公共交通体系について検討をさらに進め、新年度後半には実証実験までこぎつけた

い。また、デマンド型公共交通に対する助成の見直しを県にも強くお願いしている。

③ 新元号に伴うシステム改修は。

企画課長 平成31年5月

1日新天皇御即位に伴い、新元号が施行される。

庁舎内で影響を受けるシステムは、住民登録や税、福祉関係等の業務で運用している「基幹系システム」であり、システム設計・制作はすでに終了している。

新元号が公表される平成31年4月1日以降最後の作業に取り掛かり、実際に窓口運用が開始される5月7日には正常にシステムが稼動するように、滞りなく作業を進めていく。

議員 富山広域連携中枢都市圏について伺う。

「孫とお出かけ支援事業」のPR方法は無料となる公共施設は。

教育委員会事務局長 この事業は、富山広域連携

の事業は、富山広域連携中枢都市圏を構成する市町村などで連携して実施し、祖父母と孫が一緒に対象施設へ訪れると、利用料・観覧料が無料になる。

主な対象施設は、富山

市の「ガラス美術館」「ファミリーパーク」

「科学博物館」。高岡市の「万葉歴史館」。滑川市の「ほたるいかミュージアム」など、県内54施設。

広報かみいちや町内会へのチラシ回覧のほか、公共施設へのポスター掲示を通じて、本事業を広く住民に周知していく。



その他の質問
・富山県の観光おもてなし事業「休んでかれ」宣言について
・有害鳥獣冷凍保管施設の建設について
・赤い羽根共同募金について



酒井 桂之 議員

厳しい中でも夢のある施策を 元気にする会(仮称)の結成を望む

平成31年度の予算編成は

議員 平成31年度の予算編成をどのように編成するのか。

町長 全ての事務事業の点検・見直しを行い、義務的経費を除く一般行政経費や投資的経費は、消費税・地方消費税の増税に伴う影響を含めたうえで、平成30年度当初予算額の範囲内で編成する。

議員 第7次上市町総合計画に掲げる施策をどのように取り入れていくのか。

町長 今年度が計画期間5カ年の中間年度にあたることから、その内容の見直しを行い、新年度予算に反映する。

議員 新たな財源確保対策をどのように考えているのか。

町長 クラウドファンディングなど、当町においても導入しうる新しい手法を積極的に取り入れたい。

上市町の活性化対策をどのように考えているのか

議員 上市町を「元気にする会(仮称)」を結成し
たらどうか。

町長 現在、町には「ハッピー上市会」や「まちのわ推進協議会」といったまちづくりに関わる団体があることから、その団体が核

になって、後に議員ご提案の「元気にする会(仮称)」のような組織へと発展していくことを期待している。

議員 工業団地の造成をどのように進めようとしているのか。

町長 町南西部工業ゾーンにおける公共投資について、工業団地造成も含めた幅広い観点から検討をしたい。

臨時・非常勤職員の処遇の改善を

議員 現在の臨時・非常勤職員の全員を会計年度任用職員として移行見込みをどう考えているのか。

町長 現在、勤務している臨時・非常勤職員の担当業務や課全体の人員などを考慮したうえで、必要

性が認識できれば会計年度任用職員に移行していく。現状を調査し、1月にヒアリングを行い、その職

の継続を判断する。任用については、競争試験や、選考による面接や書類選考等により適宜、能力を検証する方法で採用する。

議員 会計年度任用職員の処遇について事前に示されるか。事前に示されるとすればいつごろを目途としているか。

町長 職員組合と事前に協議したうえで、7月下旬を目途に決定し、平成31年9月議会には関係条例を提案したい。

議員 勤務時間が週15時間半以上の会計年度任用職員に期末手当を支給すべきだと思うが。

町長 限られた財源のなかで国・県・他自治体の動向を参考に対応したい。

第7次上市町総合計画
平成23年度～平成32年度

「確かな地域力」で創る 存在感あふれる上市

富山県上市町

一般質問

細田守監督の応援を



松本 寛 議員

議員 当町出身のアニメ監督、細田守氏は国内のみならず、海外でも高い評価を受けている。また人気アニメゆかりの地を観光資源として活用し、訪日観光客の誘致促進を目指す「アニメツーリズム協会」が、当町浅生の古民家「花の家」を2年連続で「アニメの聖地」に選定した。これらは国内外の観光客へのPRになると同時に、上市町の誇りとして子どもたちの郷土愛育成にもつながると期待できる。今期は新作発表に合わせて試写会を催した。このような細田氏への応援を継続していくことが重要だと思ふ、次年度以降にも何か応援する取り組みをお考えか。

産業課長 細田守監督は、日本アカデミー賞優秀アニメーション作品賞最優秀賞の4回もの受賞歴やアメリカの「アニメーションのアカデミー賞」と呼ばれるアニメーションでの長編インディペンデント作品賞と長編作品脚本賞の受賞など、世界的評価を受けている。また細田監督の生い立ちについて当町で取材・撮影されたテレビ番組が全国放送されるなど、町の魅力発信に大きく貢献していただいていると受け止めている。ついでに、次年度以降もスタジオ地図をはじめとする関係団体と連携を密にしながら、細田監督作品上映会の開催や上市図書館の作品コーナー充実など、細田守監督を応援する企画を積極的に検討していきたいと考えている。

マイナンバーカード普及キャンペーン



宝嶋 洋子 議員

議員 上市町におけるマイナンバーカードの普及率は、町民課長 交付率は9.2%。発行枚数は1930枚。県下15市町村の中で普及率は10位となっている。マイナンバーカードの申請は個人による任意申請である。制度が始まってから約3年しか経過しておらず、十分に浸透していない。

そこで、町ではマイナンバーカード取得促進キャンペーンとして、町民課窓口にて顔写真の無料撮影とオンライン申請手続きのお手伝いを行っている。キャンペーンは平成30年11月から平成31年1月までの期間で実施。11月は通常時の約4倍にあたる23名の方が窓口で申請手続きをされた。

今後、役場庁舎入口、町広報、ホームページ、net3で案内するほか、平成31年1月の「はたちのつどい」、2月の「剣岳雪のフェスティバル」、「確定申告の会場」でPRを実施する。

議員 児童生徒の携行品に係る配慮は、(P7 堀田喜久男議員の一般質問にて教育長答弁)



国営緊急農地整備事業(1町田) 柵並木を訪れる皆さんへ



勝戸 謙 議員

農地の大区画化 610ヘクタール
議員 農地集積・集約化や耕作放棄地の発生防止・解消を図るために進められる、国営緊急農地再編整備事業内容を問う。

産業課長 目的は「とやま型農業経営モデル」の実現。構造・栽培・労働の3つの改善・改革を目指す。事業地域は、全体実施面積約610haを富山市、滑川市、上市町で取り組む。当町では、その約24%に当たる約150haを宮川地区の6集落。農地の大区画化やそれに伴う、道路・水路の付け替え及び改修も実施可能。事業開始年度は、平成31年度の国の概算要求に本事業の調査費が計上されており、現在、富山県と関係機関、地元が平成33年度事業採択に向けて準備を進めている。事業期間は概ね10年間。

また、本事業に伴う、埋蔵文化財の調査・研究が想定される場所は、6遺跡57ha。試掘調査の時期及び期間については、今のところ未定。

立山寺案内石柱を参考にされる観光客へ

議員 立山寺駐車場にトイレを。

産業課長 柵並木手前の駐車場へのトイレの設置については、リニューアル済みのトイレが本堂近くにあり、これ以上の設置は考えていない。

しかし、柵並木を見学の観光客への対応として、周辺の景観を損なわない範囲でトイレの位置を示すサインを工夫して設置出来ないか、知恵を絞りたい。

イノシシ対策シンポジウム

(11月26日)

場所 上市町役場4階大ホール
主催 産業振興対策特別委員会

概要 近年、イノシシ被害が上市町内中山間地から町部へと急速に拡大し、その対策が喫緊の課題となっているため、地元被害集落代表や県関係機関と意見交換する場を設け、今後のイノシシ対策の方向性を探った。会場で5名のパネリストが被害状況や取り組み状況を報告した後、約60人の参加者も交えて今後の対策について意見交換を行った。パネリスト等からの発言要旨は、以下のとおり。

〈発言要旨〉

①被害集落

- ・イノシシが畔や土手を掘るので水路が埋まる。
- ・イノシシが真昼から集落を闊歩し危険を感じる。
- ・防護柵の保全(草など)経費の負担が大変。
- ・山手の集落は力が弱体化している。
- ・イノシシがひそむ森林の整備を進めてほしい。
- ・地元だけで出来ない。
- ・被害農家だけでなく集落全体の問題として取り組み、経費も全体で負担している。
- ・役場には迅速な対応をいただいております、ありがたく思っています。

②富山県森林政策課

- ・県民参加の「水と緑の森づくり」を推進している。

ている。独自に1人年500円の森づくり税、約3億8000万円をいただいているが、その何倍もの事業を行っている。

④会場内傍聴者から

- ・森の維持管理は行政だけでは限界があり、住民のみなさんとの共同が必要。
- ・イノシシが住みにくい環境にすることが大切。
- ・富山県でも明治時代にイノシシの毛皮を製品にしていた記録があるが、その後イノシシはいなかった。イノシシはいない方がいいと思っている。
- ・捕まえることも大切だが簡単ではない。餌をやらないうで減らすこと

③富山県自然保護課

- ・保護と管理、両方やっている。

まとめ

関西方面はイノシシと100年以上上わたりあっている。電気柵や捕獲対策も必要だが、炭やまき、建築資材など森が宝であった戦前は、イノシシ被害が記録にない。バイオマス発電などと共同して森を整備し、イノシシが住みにくい環境をつくらなければならぬ。

(副委員長 碓井憲夫)

視察報告

議会広報特別委員会

町村議会広報研修会 (10月9日)

研修会場 (東京シェーンバウハ・サボー)

- ①読み手に伝わる文章の書き方
- ②デザインの手で、もつと伝わる議会広報誌に
- ③最優秀賞及び優秀賞作に見る光彩を放つ編集力

以上3部構成で研修が行われた。

長野県軽井沢町 視察研修 (10月10日)

議会広報の編集について

- 編集工程の紹介、
- 表記の統一、紙面デザイン、記事編集要領、議会だよりモニター等について研修を受ける。
- また、軽井沢町と観光の歴史について紹介も受けた。

(委員長 勝戸 謙)

感想・今後の取り組み

住民とのコミュニケーションが大事であり、創意工夫する必要がある。

町民の目線で親しまれやすい、広報誌作りに努力して行きたい。

議会広報誌の表紙写真を募集しては。

編集マニュアルを早急に作成し、全議員に周知徹底を急ぐべき。

文章は読んだ人が理解できるようにしたい。

議会だよりモニター制度で、住民との対話の機会を広げては。



視察報告

産業厚生常任委員会 (10月25日)

林道大観峰線

イノシシ被害対策で、今年度、柿沢地内に設置した獣害対策仕様の荒目グレーチング付横断側溝「わたれません」。施工規模は幅4・5m、延長2・5m。この設置により、現在までイノシシの出没は確認されていない。



「わたれません」施工現場

加えて、立山町で施工された2カ所も視察させて頂いた。

林道伊折千石線

昨年台風5号によって、2カ所の法面崩落災害が発生。その復旧工事1号と2号の完成状況を視察した。



2号災害復旧工事現場

施工規模は1号、2号ともに延長22m、法面保護工(簡易法枠)は1号で1018・3㎡、2号で514㎡。復旧工事は完成したものの、今後とも、雨天時等の通行には十分に注意して頂きたい。

町花「リンドウ」

ふるさと観親自然公園内、及び伊折地区にてリンドウの生育状況を視察。平地の環境下では成育が難しいと言われるリンドウの花。現地では、住民の方々の手によって苗が植えられ、将来、たくさんの花が咲き誇る風景を町民の皆様に見て頂く事を夢見て、大切に育てています。



リンドウ

くれぐれも、花を折ったり盗掘等の心無い行為は、ご遠慮頂きたいものです。どうしても取(盗)りたい人は、「写真に撮る」だけにして下さい。(副委員長 堀田喜久男)

アルプス縦貫トンネル促進特別委員会 (10月22日)

ルートの一本化を

長野県大町市及び市議会と意見交換を行う。

《出席者》

大町市・大町市長、市議会議員長、副議長
ほか2名

上市町・委員会委員長、副委員長ほか4委員

《富山県の動向を報告》

平成29年11月22日北アルプス横断道路構想推進会議発足

会長 衆議院議員 宮腰光寛氏(現 内閣府特命担当大臣)

(富山市以东の9市町村の地方公共団体、地方議会、県議会議員、商工会議所、商工会、青年会議所、観光協会の各団体で構成)

(オブザーバーとして県東部選出国會議員及び富山県土木部が参画)

《設立の趣旨》

富山県と長野県は、隣県でありながら直接結ばれる道路がない。

横断道路が開通すれば、長野県はもとより関東圏とのアクセスが飛躍的に向上し、観光やビジネスあるいは自然災害時に複数のネットワークにもつながる事業効果の高い道路として期待される。

構想実現へ向けて一致団結するために組織化された。

《大町市の意見》

・大町市は、富山県氷見市と姉妹都市交流がある

・富山県へは、岐阜県、新潟県を経由しているが、隣県でありながら往来にためらいがある。

・3ルート(上市・立山・新川ルート)が一本化され、大町市と結ばれば最大限に協力支援して行く。

《上市町の意見》

・長野県から富山県内および富山市中心部までのアクセスは、上市ルートが最短であり、最大限に活かせると考えている。

・推進会議と連携を図り、上市ルートが選定されるよう活動して行く。

(副委員長 伊井勇治)



産業振興対策特別委員会 (10月30日)

視察先 福井県若狭町
概要 住民・民間企業・行政の三者が協力・出資、一体となって地域活性化。

〔研修事業を行う「有限会社かみなか農楽舎」〕

①自治体発の就農定住事業・都会の若者の就農機会を創出

農業者の高齢化と後継者不足、担い手不足は、現在、多くの農村で抱えている深刻な問題です。

福井県若狭町(旧上中町)も農業を基幹産業に発展してきましたが、現在では農業者のほとんどが兼業農家となり、前述の開店から遊休農地の増加・過疎化対策が課題になってきています。

こうしたなかで、同町は行政と集落住民とが主体となり、大阪にある農業にも力を入れる企業の類設計室と相互に協力、出資して、「都市からの若者の就農、定住を促進し、集落を活性化すること」を大きな目標とする(有)かみなか農楽舎を設立しました。

②農楽舎の設立経緯・事業内容

当初、若狭町は、農村総合整備事業の補助金を活用した観光農園をイメージしていましたが、他市町村の類似施設との競合や、運営に係る補助金の打ち切り、人材育成の問題などから事業の継続性には疑問がありました。

「本当に目指すのは地域活性化であり、そのためには農地保全と後継者の育成が重要」という問題意識から、就農定住事業のための研修事業をメインに据え、その他にインターンシップ事業、体験事業、農業生産事業、直販事業の5つの事業を行う法人として、平成13年10月に設立されました(出資割合…町50%、集落30%、関西の(株)類設計室グループ20%)。

役員には当時(株)類設計室常務の馬場康一郎氏を社長に迎え、町職員

と、地元で採用した栽培管理費佳肴の3名を中心に事業を開始しました。社員がいない間は町職員が専従することで人材募集における信頼度の向上、町の農業ビジョンとの整合性、農地集積、就農先の斡旋などに寄与してきました。

研修事業は長期滞在型であることが特徴であり、施設内には農業作業場のほか、宿泊、生活のスペースが設けられています。事業18年日の現在では、取締役、社員、研修生は11名となっております。

「本当に目指すのは地域活性化であり、そのためには農地保全と後継者の育成が重要」という問題意識から、就農定住事業のための研修事業をメインに据え、その他にインターンシップ事業、体験事業、農業生産事業、直販事業の5つの事業を行う法人として、平成13年10月に設立されました(出資割合…町50%、集落30%、関西の(株)類設計室グループ20%)。

と、地元で採用した栽培管理費佳肴の3名を中心に事業を開始しました。社員がいない間は町職員が専従することで人材募集における信頼度の向上、町の農業ビジョンとの整合性、農地集積、就農先の斡旋などに寄与してきました。

2年コースでは1年目については水稲栽培の作業を一通り学び、2年目からは自分で計画を立てて農作業に取り組みさせています。実作業以外にも座学や他家研修などを取り入れながらより実践に近い形で研修を行っています。

「インターンシップ事業」は1週間〜1カ月程度、研修生達と共同生活をしながら、就農に興味のある方にむけて就業体験を行います。

「体験学習事業」は子どもに農業をさせたいと言う子持ちのご家族や、農業に興味を持っている方々に田植えから稲刈りといった農作業から、山菜取りから郷土料理といった田舎暮らしを体験してもらっています。これを会社の窓口として、作物の販売や、研修生募集へと繋げています。

以上、視察先で学んだことを上市町で少しでも活かしたいと考えております。

(副委員長 碓井憲夫)



有限会社 かみなか農楽舎

町民の声 紹介



湯神子野 十字 一郎さん

イノシシ対策シンポジウムに参加して(役場にて)
 今年は亥年ですが、昨年11月26日対策会議に参加いたしました。イノシシによる農作物被害の実情を知るとともに今後里山から市街へと影響が及ぶ状況を踏まえ町ぐるみで行うべき対策を学習致しました。県より森林政策課、自然保護課よりアドバイザーがいました。上市町では29年度捕獲数153頭、30年度107頭とやや減つてはいる様ですが、今後が心配であります。要望として、水と緑の森づくり税500円の内一部をイノシシ対策に利用出来る様になりたいと市町村だけでは限界があるように思います。電気柵やワイヤーメッシュ等議会で取り上げて頂きたいと思いましたが、



酒井 京子さん

観光地としての(幻のまま子滝)について視察
 実はこのまま子滝を白萩西部自治振興会で昨年11月中旬の現地視察に参加致しました。前年整備された滝の上流は素晴らしい景観がありました。林道から山の滝を約10分ほど登った場所にあり溪流は岩肌でまるでミニ奥入瀬のような感じでした。その近くを散策しながら滝を目指して登ります。その上には水源となつていて憩いの場所があり(源泉寺地内)将来的には桜を植えたりして憩いの場所が見えらると思えました。まま子滝第1、まま子滝第2、林道、見晴らし台、ため池等今後は周辺地域を広く皆さんにトレッキングやハイキングコースとして利用できればと思えました。

議会に期待することは
 さて、イベントになると議員の方々の挨拶が慣例となつているが、私からのささやかな提案は雪のフェスティバルで議員の方々が一丸となつて熊鍋に匹敵するような美味しい鍋を考案し、町民にふるまつてはどうでしょう。そこには町民と同じ目線の笑顔が溢れ、更にその先には上市町が推奨する安心、安全な住み良い町がきつと見えてくると思う。その際には可愛いピンクのエプロンはいかがかな。

議会傍聴にきました。



お詫びと訂正
 議会広報かみいち No.17号で、管内視察報告の記事中に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
 (誤) 初穀
 (正) 初穀

お知らせ

「声」の募集
 町民の声コーナーに、ひと言お寄せいただける方を募集しています。各議員または議会事務局までお知らせください。

会議録の閲覧

インターネット上で本会議の会議録の検索や閲覧ができます。(定例会終了後約2カ月後に更新されます。)
 アドレスはこちら
 町ホームページ「議会会議録検索」または、
<http://www.town.kamiichi.toyamadst.jp/>

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 勝戸 謙 |
| 副委員長 | 伊井 勇治 |
| 委員 | 松本 寛 |
| | 堀田喜久男 |
| | 宝嶋 洋子 |
| | 酒井 恒雄 |

編集後記

町民と議会のパイプ役となる広報が発行されて18号となります。「町民の声」も毎回色々な声を聞かせて頂き感謝とお礼を申し上げます。

12月議会に、上市高校3年生が傍聴されました。18歳以上が、投票できるようになり、政治に対する意識向上、議会に関心を持つてもらえたことは、大変嬉しい事です。これからも、住みよい安全な町の活性化になるよう町民の暮らしの課題を一つでも解決出来るよう、広報委員一丸となり、頑張ります。

平成31年が町民の皆さま方にとって素晴らしい年になる事を祈念申しあげます。

宝嶋 洋子

表紙写真

11月8日、白萩西部小学校で開かれたやきいも大会を訪ねました。
 大変美味しく、あつたかい集いでした。

連絡先 上市町議会

〒930-0393 富山県中新川郡上市町法音寺1 ☎076-472-1111 FAX076-472-1115 ホームページ <http://www.town.kamiichi.toyama.jp/>